



PTA新聞

10月号

発行所／福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人／鬼頭 良典
編集／広報委員会

県P連ホームページアドレス
<https://fukuokaken-pta.jp>



令和7年度 委員総会開催

委員会活動がスタートしました!



委員総会の様子

福岡県PTA連合会（県P）では5つの委員会を設置し、県Pの運営やさまざまな行事を行っています。6月28日、令和7年度の委員総会と第1回委員会が開催され、委員会活動がスタート。各委員会の正・副委員長も選出・承認されました。個性と意欲あふれる、各委員会の委員長たちをご紹介します。



第1回目の委員会では前年度の委員長が活動内容を説明。自己紹介などで交流を深めました。

1年間よろしく お願いします!

広報 委員長

はしづめ だいすけ
橋爪 大輔
(柳川市立藤吉小学校)

良い雰囲気です
委員会運営ができるよ
う楽しめます!



【趣味】 飲み歩き、サウナ、ロードバイク
【好きな本】 MONOQLO (ベストバイ)
【好きな漫画】 アオアシ、ハイキュー!!、
弱虫ペダル、鬼滅の刃、
コタローは1人暮らし、
呪術廻戦、ワンピース
【好きな言葉】 No Rain, No Rainbow
「雨が降らなければ虹は出ない」

安全・調査 委員長

ふじよし ちかよし
藤吉 央喜
(久留米市立高牟礼中学校)

子どもたちの環境や、PTA活動がより良いものとなるようアンケート調査を実施します。また、スポーツ交流会を行うことで、保護者同士のふれあいの場となり、他校との意見交換の場所としたいです。



【趣味】 バドミントン、ドライブ

家庭教育 委員長

ながとし けん
永利 健
(小郡市立宝城中学校)

できることは一生懸命頑張ります!

好きな犬は
シーザー。
飼ってみたいのは
ハスキーです!



【趣味】 ツーリング、キャンプ、
ペットに癒やされる
【好きな言葉】 成せば成る
【好きな映画】 最近では「TOKYO MER」

10月号 もくじ

1面▶▶▶

令和7年度 委員総会開催／委員長紹介

2-3面▶▶▶

令和7年度 委員会紹介／県P役員・委員名簿

4-5面▶▶▶

単Pが主役! PTA通信

6面▶▶▶

特集 学びバ!! FUKUOKA

7面▶▶▶

食べるってなあに／ナニコレ珍百景／
キラリ☆オンリーワンP

8面▶▶▶

令和7年度 三行詩コンクール入賞発表

研修 委員長

むらおか ともひろ
村岡 智弘
(飯塚市立穂波西中学校)

PTA役員研修会の企画・運営が主な活動です。単位PTA役員の皆さまに楽しく活動していただけるように頑張ります。また、今年度に限っては「学びバ!! FUKUOKA2025」の運営も活動に加わっています。PTAに携わる方々にさまざまな「学び」を提供していきたいです。



好きなバイクは
96NSR
250R SP!



【趣味】 バイク・車
【好きな漫画】 ヒストリエ
【好きな映画】 マトリックス

総務 委員長

こやなぎ しょうた
小柳 翔太
(みやま市立瀬瀬中学校)

令和2年度以来、2度目の総務委員会です。子どもたちがより良い環境で義務教育の9年間を送ることができるよう、単Pの皆さまの声を集めて、陳情活動の充実につなげていきたいと考えています。微力ではございますが、委員の皆さまとともに活動に努めてまいります。



【趣味】 学生の頃から単身バイクで出かけることが好きで、今の相手はこの車両(RC42)。時間や連絡を気にせず、季節を感じながら無心に走っていると、慌ただしい日常から解放される気がします。

県Pの5つの委員会+母親代表者会の活動をご紹介します！ 本年度も各単位PTAの皆さんの声を運営や企画に生かし、さまざまな事業を行っていきます。

各委員会の活動報告は県Pホームページよりご覧いただけます。



広報委員会

広報委員会では、主に福岡県PTA新聞の制作を行っています。また、今年度は生き活きと活動されている保護者の皆さまにスポットを当てたいと考えています。

委員会運営で特に意識していることは、紙面に伝わるような雰囲気づくりと、懇親です😊

多くの方に新聞を読んでいただき、PTA活動の楽しさを伝えていけるよう、委員会メンバーみんなで頑張りますので、1年間よろしく願いいたします🙏



【主な活動内容】

- ・県P新聞の発行
- ・情報発信（新聞、HP、SNS等）
- ・広報紙づくり研修会の企画・運営

総務委員会

陳情や会則など硬いことを話し合っているだけでなく、それぞれの学校のことや取り組みの工夫を持ち寄ってしゃべり合うなど、和やかな委員会です。

笑い話や失敗談を皆で共有して、これから良くなるための肥やしにする、実りのある会にしていきたいです。

【主な活動内容】

- ・会則の検討・見直し
- ・県教委への陳情・対談
- ・市町村代表者会議の企画・運営



安全・調査委員会



アンケート調査をし、今後PTA活動が皆さんにとって楽しくより良いものとなるような内容を調査していきます。

また、スポーツ交流会で保護者のつながりを深めてもらい、他の地域、学校との意見の交換ができるような場所をつくります。そこでのつながりを大切にもらい、その後、皆さんそれぞれが学校でなにか役に立つことを得ることができれば幸いです。

【主な活動内容】

- ・子どもたちの安全確保の推進
- ・情報モラルの啓発
- ・PTA活動の実態調査
- ・スポーツ等を通じての交流会の企画・運営

研修委員会

今年度の研修委員会の担いは大きく2点あります。

1点目は、「学ビバ!! FUKUOKA2025 福岡県大会」の企画・運営です。令和8年1月17日にミリカローデン那珂川にて13:30より開催されます。公共交通機関では困難が予想される会場ですので、自家用車に乗り合わせの上、どしどしご参加いただければ幸いです。

2点目は来年度の4月に行われるPTA役員研修会の企画・運営です。次回のPTA役員研修会も今年度同様に分科会方式で開催して、いろいろな情報を皆さま方に提供できるよう、委員会メンバーをはじめ、他の委員会の協力を得ながら進めていきます。こちらもどしどし参加をしてもらえたらうれしいです。

【主な活動内容】

- ・PTA役員研修会の企画・運営
- ・学ビバ!! FUKUOKA2025 福岡県大会の企画・運営



杉野彰子 代表

主役！// 通信



北九州 児童の学びを支えます

直方市立直方西小学校

本校では高学年児童がキャリア教育の一環として「アントレプレナーシップ教育（起業家精神）」に取り組んでいます。これは、児童の社会や組織に対する能力の育成を図るためのものです。

昨年度は、その一環として5年生が保護者や地域の方をターゲットにしたビジネスプランの作成および発表に加え、実際に児童自ら商品・サービスの開発や販売準備を行い、その集大成として、校内バザーへの出店を行う活動をしました。

販売日は、本校の学習発表会の日に設定していたので、たくさんの保護者や地域の方が来校していました。子どもたちは、グループごとに工夫を凝らして出店し、保護者や地域の方にそれぞれ商品をアピールしながら販売を行い、大変好評でした。

今後も学校と保護者、地域と連携を図りながら児童の学びを支えていきたいです。
(直方西小PTA会長 松莊礼誠)



校内バザーでの販売の様子

京 築 地域に支えられた活動

豊前市立角田小学校

角田小学校は、豊前市の北東部にあります。山あり海あり、自然環境に恵まれた学校です。校区には伝統ある行事や史跡等あり、これらは地域の方々に支えられてきました。学校教育に対してもとても協力的なので、PTA活動を行う上でとても心強く感じています。

本校のPTA活動として、PTA新聞発行、登校見守り活動、学校の整備・除草活動、学校行事への協力等あります。

その中でも特に地域に支えられ続けてきた活動として、毎年11月に「もちつき大会」を行っています。杵と臼で餅をつく経験が少ない子ども・保護者が増えている中、地域の方々の協力を得て行うことができます。子ども・保護者への温かい声かけを受け、子どもたちはとても楽しく活動

できています。今後も地域に支えられ続けてきた活動を大切にしながら、子どもたちを笑顔にするPTA活動を行っていきます。
(角田小PTA会長 古森亮太)



地域の方々の協力のもと行った、もちつき大会

筑 豊 地域で紡ぐ球技大会

飯塚市立穂波西中学校

飯塚市は平成の大合併で1市4町（飯塚市、穂波町、筑穂町、穎田町、庄内町）が一つになりました。その際にPTAも合併し、大きく5つの班に分けて、従来のPTA活動を引き継ぐ形となりました。その中の飯塚市PTA連合会2班で行われている「球技大会」を紹介します。

この地域は、昔から大人による早朝ソフトボールやママさんバレーが活発に行われていたこともあり、球技大会もソフトボールとソフトバレーボールに男女分かれて行っ

ています。2班は小学校が4校、中学校が2校の計6校あります。各校より保護者だけでなく、先生方も加えて男女それぞれ1チームをつくります。去年からの試みで、優勝を決めない大会づくりに変更し、楽しめるようにしました。球技大会を通じて、保護者間のつながり、先生方とのつながりを深めることができます。

今後もこのような、楽しめるPTA活動を行ってまいります。
(穂波西中PTA会長 村岡智弘)



球技大会でのソフトバレーボールの様子

福岡

安心できる学校づくり

糸島市立前原西中学校

糸島市は、福岡県の最西部に位置し、東は福岡市、西と南は佐賀県に接しており、福岡市の中心部・天神から約30分ほどの時間距離にあります。最近では観光地としてのイメージが強い糸島市ですが、実は地域住民の絆が強く、市内の各校区では年間を通して地域行事が盛んに行われています。地域の文化祭などの大きな行事では小中学校の生徒がボランティアで参加するなど地域との交流を大切にし、連携を深めており、前原西中学校においても、生徒たちが自ら進んでボランティアに参加する姿が多く見受けられます。

本校PTAでは、そんな生徒たちが学校生活を安心して気持ちよく送れるよう、体育会や部活動の支援をはじめ、登下校の見守りを兼ねた立哨活動、学校敷地内の草刈りや花壇の手入れなどを行っています。ま

た、制服等の購入について、各家庭の経済的な負担を軽減するため、卒業生にご協力いただき、リサイクル制服販売会なども実施しています。

(前原西中PTA会長 友岡卓也)



リサイクル制服販売会の様子

北筑後

地域と共にあるPTA活動

筑前町立三並小学校

本校は全校児童78名の小規模校の良さを生かし、学校・家庭・地域と連携した教育活動やPTA活動に取り組んでいます。今年度のPTA活動方針は「夢に向かって、はばたく三並っ子～新たな挑戦を始めよう!～」です。3つの取り組みを紹介します。まず、5月の運動会で行った「ロックソーラン節」です。学校運営協議会を中心に地域みんなで踊りました。とても盛り上がる毎年恒例の種目です。

次に年に4回行っているリサイクル活動です。各区長さんと地方委員さんが地域に呼びかけてくださり、地域一体で行っています。アルミ缶回収では、美しい自然環境の保全が認められ感謝状をいただくほどです。最後に、「さくらカード」の推進です。学校行事等で来校した保護者や地域の方が子どもたちの頑張りをさくらカードに書

いてくださいます。このメッセージが子どもたちの自己肯定感を高めることにつながっています。

このように、これからも学校・家庭・地域と共に三並っ子を支援していきます。

(三並小PTA会長 長沼嘉剛)



運動会で頑張った子どもたちへのメッセージが書かれた「さくらカード」

南筑後

子どもたちの笑顔のために

大牟田市立天領小学校

天領小学校は、福岡県の最南に位置する大牟田市にあります。大牟田市はかつて炭鉱で栄え、宮原坑や三池港といった世界文化遺産を有する歴史のあるまちです。

本校PTAは“学校・家庭・地域の繋がりを活かし、子供達の可能性を広げよう”を基本目標に、物品販売や、地域清掃、挨拶運動、校区夏祭りの共催を行っています。

この活動の中で得た収益は、子どもたちのより良い学校生活のために活かしており、昨年度は行事等で使用する学校テント

を新たに2張り購入することができました。

今年度は子どもたちが使う、学校ユニフォームの新調に向けてPTA一同頑張っているところです。

子どもたちを取り巻く環境は日々変化していますが、これからも学校・家庭・地域のつながりを大切に、たくさんの笑顔をつくっていききたいと思います。

(天領小PTA会長 猿渡未佳)



天領校区夏祭りの様子

\\ 単Pが

PTA

福岡県はひとつ。県下PTAの連携を強め、子どもたちの健全育成を促進したい！

特集

学ビバ!! FUKUOKA

僕たち学ビバース！

★学ビバ!! FUKUOKAとは



昨年度開催された「学ビバ!! FUKUOKA」2024福岡市大会の様子

「学ビバ!! FUKUOKA」は、福岡県内の3つのPTA団体（福岡県PTA連合会、北九州市PTA協議会、福岡市PTA協議会）が協力して行っている取り組みです。以前は三P協連絡協議会という名称でした。

学ビバ!! FUKUOKAの目的は、PTA活動を通して保護者や先生が学びを深め、子どもたちが健やかに成長できるようにすることです。

「福岡はひとつ」という理念のもと、みんなの力を合わせて、これからの家庭教育をどうしていくかを一緒に考え、作っていかしています。

北九州市PTA協議会
キューちゃん福岡県PTA連合会
けんぴー福岡市PTA協議会
シーちゃん学ビバ!!
FUKUOKA
連絡協議会

研修会レポート

「『いい子』が突然壊れる理由」を手がかりに、
家庭と学校の関わりを考えるー令和8年1月に実施される「学ビバ!! FUKUOKA」
2025福岡県大会に向けて、7月4日、県Pが主管とな
り研修会を行いました。役員・事務局合わせて24名が参加
しました。まずは3団体の
実践報告から

福岡県PTA連合会・北九州市PTA協議会・福岡市PTA協議会の代表者より、各団体の取り組みや学びが共有されました。参加者は熱心にメモを取り、「自団体に持ち帰って活かそう」という姿勢が随所に見られました。共通点と地域ごとの工夫点が整理され、「次の一歩が描きやすくなった」との声もありました。

「心のズレ」を
見落とさない

続いての講演では、合同会社こころと言葉代表の礒村博之氏が登壇。

礒村博之氏の講演。演題は「『いい子!』が突然壊れる理由
～親も先生も知らない“心のズレ”と、支援者が壊れない関わり方」。

講演全体を通して、子どもの行動を「見た目」だけで判断せず、その裏にあるサインに目を向けることの大切さが繰り返し示されていたように感じられました。参加者からは「自分の子どもや保護者との関わりにすぐに活かしたい」、「『内的断裂症候群（思考と行動が一致していない状態を表す礒村氏の造語）』など初めて聞く言葉もあり、今後さらに知識を深めていきたい」といった声が寄せられ、研修を通して心のあり方を見つめ直す機会となりました。

また、「親も子も完璧でなくて良い」という前提に立ち、支援する側も壊れない関わり方をもつことの重要性も語られ、参加者はときに共感し、ときにハツとしながら耳を傾けていました。

内容は、親も子も先生も一人で抱え込まず、無理のないかたちで人との関わりを育むことの大切さや、外見上は「いい子」に見えても、それは親への期待に応える行動であったり、大人の望む答えを選択している姿であり、内面では自分の本音が分からず不安を抱え込んでしまう危うさがある——など、日常では気づきにくい視点が示されました。

警察官を辞め、人生の転機や困難を乗り越えてきた実体験を交えながら「子どもと大人の関わり」について語ってくださいました。

Interview

もう一步深掘り!
礒村先生に聞いてみた!

Q

警察官やホームレスまで経験された先生の人生に驚きました。ご自身の経験や想いを「子どもや保護者に伝えたい」と思うようになったきっかけは何ですか？

A

もともと警察官に憧れていたのですが、実際になってみたら「あれ、なんか違うな」と感じまして。じゃあ自由を求めてホームレスをやってみようと思ったら、今度は不安だらけで（笑）。その経験から「自由には不安があり、不自由には安心がある」という二面性に気づきました。結局、どちらを選ぶかは自分次第なんだなと。だからこそ、そのことを子どもや保護者の皆さんに伝えたいと思うようになったんです。

Q

最近の子どもたちに「ここに気づいてほしい」と思うことはありますか？

A

誰だって、必ず誰かとつながって生きていくということですね。ご飯を食べることひとつとっても、たくさんの人の手がかかっているからこそできる。でも今の社会は、それが見えにくくなっていて「自分ひとりでやっている」と勘違いしがちです。だからこそ「一人じゃない、支えられている」ということを忘れないでほしいですね。

Q

保護者や先生が、「心のズレ」を見逃さないためにできる小さな習慣はありますか？

A

まずは自分の「ズレ」に気づくことが大事です。どんなときにズレが起こるのかを知っておくだけでも違います。その上で、子どもとできるだけ会話をすること。何気ない会話でいいんです。日々続けていけば、「今日はちょっと元気がないな」とか「いつもと違うな」と気づきやすくなります。そんな小さな違いに気づけることが、心のズレを早く見つける第一歩になると思いますよ。

——ありがとうございました！



●礒村 博之 氏

合同会社こころと言葉代表。元警察官、心理学検定特一級合格、虐待防止活動家、一児の父（子育て真っ最中）。過去の講演テーマに「子どものやる気を引き出す感情の使い方」「自己肯定感を育てる親子コミュニケーション」など。メルマガ毎日配信中。

登録はコチラから➡



ぜひご参加ください♪

「学ビバ!! FUKUOKA」2025
福岡県大会 開催決定!

- 主管 福岡県PTA連合会
- 日時 令和8年1月17日（土）
13:30～（予定）
- 会場 ミリカローデン那珂川
- 講師 耕せにっぽん
代表・東野昭彦氏
- 演題 「子育ての逆の視点
～『自由にしたいよ』
でいいの?～」
- 参加対象 北九州市P協、
福岡市P協、
福岡県P連の会員

★10月中旬頃より申し込み受付開始

お申し込みはコチラから➡



(副会長 三木聖隆)



山際千津枝の

— マングースの独り言 —

Vol.129

食べるってなあに

やまざわ・ちづえ

食をコミュニケーションツールと考えている料理研究家。その他エッセイスト・テレビ、ラジオのコメンテーター。現在は博多阪急デパートにおいて地下食品販売部アドバイザーを務める。

旅したいですね



目的を決めて計画的に行動する旅行も良いですが、ふらりと出かけて移動の途中の景色や小さな出会いを楽しむ旅も良いものです。

飯塚での打ち合わせが1時間で終わったので、周辺を少し散歩すると、住宅街に煉瓦造りの巨大な建造物が。三菱飯塚炭鉱の「巻上げ機台座」でした。炭鉱の坑内に人や資材を送ったり、掘った石炭を載せたトロッコを巻き上げたりする機械の台座だそうです。戦後の日本の復活を支えた誇りと風格ある姿に心を打たれてしばらくたずみました。

教えていただいた和食のお店はきちんとした昔ながらのお味でした。雑貨屋さんと文房具屋さんもさすがの品ぞろえ。江戸時代は長崎街道の宿場町、大正から昭和にかけては炭鉱の町として栄えた場所。その豊かさをしっかりと感じとり、立ち去りがたい気分のまま、福北ゆたか線に乗り、あっという間に博多駅に到着。大満足の小さな旅でした。

お盆前に仕事で宮崎、熊本に出かけました。博多駅のバスターミナルから五ヶ瀬町役場前まで3時間と少し。福岡の中心部を抜けると青空と緑、日本の自然はまだまだ美しい。冷房が効いた車内で

時々ウトウトしたら3時間なんて短いくらい。町役場前のバス停から迎えの車で仕事先へまっしぐらの予定が、途中「幣立神宮」の表示…。お参りしないで通り過ぎるわけにはいきません。九州のへそと呼ばれる山都町にあり、1500年の歴史があるといわれる神社。鳥居をくぐって150段の階段を上り、五百枝杉やヒノキのご神木に囲まれたすがすがしい本殿に、心を込めて手を合わせました。

その日の仕事先は近くの五ヶ瀬ワイナリー。地域で栽培されたぶどうだけを使う希少なワイナリーです。標高600メートルの寒暖差の大きいこの地で醸されたフルーティーで糖度と酸味のバランスの良いワインの数々。ワイナリー横のショップであれこれと迷い購入しました。隣接するレストランでは阿蘇の外輪山を眺めながら地元の美味しい食材を使った料理をビュッフェスタイルで楽しみました。

ニュースを見れば観光地はオーバーツーリズムとかで人人人、あちこちでトラブル。今はまだ人気観光地ではないところでも、自然や食の本物の豊かさがあることを知った幸せな夏でした。

電車数駅先に必ず美味しさや美しさがあるのが私たちの住む九州。ふらりと小さな旅に出かけてみませんか。

新コーナー②

キラリ★オンリーワンP

大人が笑顔になってこそ、子どもの未来も明るくなる

今回のオンリーワンは…柳川市立藤吉小学校育友会

個性がキラリ★ 取り組みがオンリーワン★ そんな単位PTAが登場する新コーナー。第1回目は、笑顔の絶えない会議が自慢の「藤吉小育友会」をご紹介します。



育友会と母の会合同で行われる運営委員会は常時20名前後が参加。自由に意見を言い合える和やかな雰囲気、協議もスムーズに進みます。

PTA? PTCA? 育友会?…って何? 大半の方が子どもの進学と同時に一度は考えたことがあるテーマだと思います。検索してみても…やっぱりよく分かん!!

実は私自身、7年間役員を務めておりますが、正直いまだによく分かっていません。いえ、むしろ名称は何でも良いとさえ考えています。人それぞれに考え方がるように、組織にもさまざまなカタチがあって良いのではないのでしょうか。我々、育友会はどんな時も「できないことはできない」「好きなものは好き」と言える仲間づくりの場を目指しています。

藤吉小学校校区のテーマは「共に学び、楽しもう!!」。

保護者同士、地域と学校、そして子どもたちとの絆を深め、より強固なつながりを築くことを目指しています。お互いの理解と協力が、子どもたちの健やかな成長を支える大きな力となります。立場の違う人々が共に、心をつなげて、温かい学びの場を築いていけたら最高ですね。

私たち大人が楽しんでこそ、子どもたちの明るい未来へつながると信じています。

子どもたちが「ずっと住み続けたい!」と思うような、ふるさとのために。

(藤吉小育友会会長 大津康永)

※次号(令和8年1月号)では、藤吉小育友会・母の会役員メンバーの座談会をお届けします。「楽しいPTA活動」の秘訣とは…!? どうぞお楽しみに♪



大事なのは「名前」じゃなく「仲間」!

育友会の
大津会長

大募集

新コーナー「ナニコレ珍P百景」「キラリ★オンリーワンP」に登場してくださるヒト・モノ・コト、そして単Pを募集します! 自薦・他薦は問いません。「うちも面白いよ!」「こんな面白いできごとがあったよ」などなど、どしどしご応募ください。

ご応募はコチラから→



新コーナー①

ナニコレ珍P 百景

学校や地域の面白ネタを紹介!

エッ!?

校歌斉唱で3曲!?

小中一貫教育校

みやこ伊良原学園(みやこ町)

[伊良原小学校・伊良原中学校]

みやこ伊良原学園はダム建設に伴い移転となった「みやこ町立 伊良原小学校」と「みやこ町立 伊良原中学校」が併設し、平成28年度に小中一貫教育校として開校しました。

開校時には、同町出身のシンガーソングライター・永井龍雲さんに新たな学校をイメージした素敵な学園ソングをつくっていただきました。学校行事の校歌斉唱では、長い歴史をもち、地域に愛されている「伊良原小学校校歌」「伊良原中学校校歌」に続き、学園ソング「from~ここから」の3曲を歌っています。

(伊良原中PTA会長 中嶋ゆかり)

学園ソング

体育館に卒業生が制作したモザイクアートが掲げてあり、学園ソング「from~ここから」の歌詞が載っています♪



素敵な校舎はなんと安藤忠雄さんのデザインなんですよ!

校舎



令和
7年度

普段は言えない気持ちを三行にこめて…

／おめでとうございます／

三行詩コンクール 入賞者発表

令和7年度の日本PTA全国協議会（日P）「三行詩コンクール」で、県Pが選考した入賞の皆さんが決定しました。
三行詩とは、三行程度で表現された短文のことで、テーマは「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」。
本年度も素敵な作品が多数寄せられました。応募総数163作品の中から入賞に輝いた皆さんの作品を発表します。

※敬称略

小学生の部

優秀賞

やさしくしたら
やさしくされる
なんでもじぶんから
宇美町立原田小1年 板井 癒月

2019年7月17日

ぼくがお兄ちゃんになった日
ぼくだけのママじゃ
なくなつた日
ママに24時間以上
会えなかつた日
とってもママを心配した日
でも、その日はかわいい
弟がうまれて、
今までで一番うれしくて
心があたたかくなつた日

中学生の部

優秀賞

毎朝かわらぬ
「いつてらっしゃい」
それが明日もあるとは限らない
だから笑顔で「いつてきます」
筑後市立筑後中3年 本田 梨紗

反抗期中
それでも本当は想っている
「ありがとう」って
大牟田市立松原中3年 首藤 沙織

「おはよう」と
一日の始まりを家族と迎え
「おやすみ」と
一日の終わりを家族と迎える
当たり前のように見えて
一番幸せなこと
筑後市立筑後中3年 相良 怜望

入賞

糸島市立南風小2年 山崎 聖美
春日市立春日東小3年 高崎 咲良
宇美町立原田小5年 庄田 恵絆
筑前町立三並小6年 内藤 仁菜
朝倉市立朝倉東小3年 鹿田 桃

一般の部

優秀賞

親が笑えば
子供は自然と笑顔になる。
大牟田市立松原中 井形 美樹
同じ時間を
共に過ごせる今。
このひとときを
大切に。歩いて行く。
大牟田市立松原中 森木 由美子

子の君へ
教えているつもりでも
教わっているのは親の方
春日市立春日小 真崎 真理

いつか咲く
君と言う名の花は
色も形もタイミングも
それぞれだ
春日市立春日小 真崎 真理

見守ることが
愛だとわかっていても
心が先に動いてしまう
親の葛藤、今日も続く。
大牟田市立松原中 小川 理沙

◆ぜひご参加ください◆

三行詩コンクールは毎年5月～6月頃にかけて作品を募集しています。県Pで選考を行い、入賞・入選者を県P新聞で発表。優秀賞の作品は日Pに推薦されます。

家族との何気ない会話や日常のワンシーンを切り取って、三行詩にしてみませんか？ 来年度のご応募お待ちしております！

1人で悩まないで

福岡県いじめレスキューセンターのお知らせ

福岡県では、いじめの早期発見・解消を図り、重大化・長期化を防ぐため、学校外の立場で、いじめに悩む子どもや保護者からの相談を受け付けています。

☎ 092-645-2567

対象事案

- ・学校への相談を迷ういじめ
- ・学校への相談後、第三者による支援を希望するいじめ

対象者

県内の小・中・高等学校・高等専門学校に通う児童生徒とその保護者

開設日時

10時～18時
※土曜日・祝日および年末年始を除く

メールでの相談や面談の予約など、詳細はHPをご確認ください



HPIはこちら

社会福祉士などの資格を有する
支援員が対応します

学校には
相談したけど…学校には相談
しづらいなあ…

※センターは、民事・刑事上の責任追及、当事者である児童生徒への直接的な指導を行う役割は有していません。

いじめレスキューセンター以外
にも、子どもの悩みに対応する
相談窓口を設置しています。

詳しくは
こちら

こどもまんなかポータルサイト

今すぐアクセス！

福岡県は、子どもにとって最も
よいことは何かを子どもの視点に
立って考え、県民みんなで
「こどもまんなか社会づくり」を
進めるサイトを開設しました！



主なコンテンツ

みんなの意見箱

県のこども施策に対する
こどもたちの意見を募集

こどもの居場所マップ

こども食堂などの居場所を
探したり、活動状況などを
知ることができます

クイズで学ぼう！
こどもの権利

こどもの権利について
クイズで楽しく学べます

みんなでつくる
こどもまんなか

県民や事業者などによる
こどもの育ちを応援する
取り組みなどを紹介

お問合せ先 092-643-3013
福岡県福祉労働部こども未来課

福岡県こどもまんなかポータルサイト



アクセスはこちら！